

## 鶴見区地域福祉計画 「明日の幸せ まちづくり」アクションプラン

### 1 鶴見区の概要

鶴見区は、マンション等の建設が進みそれに伴って都市化も進み、人口は増加の一途をたどっていますが（110,605人：平成21年1月1日、計画調整局）、出生数と死亡数における自然増加にその理由があると思われます。特に、出生率は市内第1位の高率であり、年少人口割合が高く、このことは1世帯あたりの人員も市内第1位という家族数の多さからもうかがわれます。一方、死亡率は市内第2位の低率であることから、今後とも人口増加が続くことになると考えられます。子どもとともに子育て層が多い区という特徴があります。

### 2 アクションプランの策定

誰もが住みなれた地域で、安全に安心して暮らし続ける、住民による支えあいの仕組みづくりを進めるためには、地域の方々は、その主人公としての役割を担うことが必要になります。そのためには、自らの地域の実情やその課題について話し合い理解することが不可欠ですし、アクションプラン（地域の福祉活動計画）づくりの基礎になります。

鶴見区では、アクションプランの策定にあたっては、多くの区民の意見が反映できるよう、高齢者・障がい者・子どものそれぞれの分野でアンケートやヒヤリングによる調査を行い、また、地域住民の生の声(意見)を聞く機会として11校下すべての地域において住民懇談会を開催しました。各地域の役員の方々だけでなく、地域で活動されている方や障がいのある方など、様々な方にお集まりいただき、数多くの課題について話し合い、意見を出し合っていたくなく、知らなかった事の気づきが生まれ、解決方法などについても話し合われました。



### 3 アクションプランの基本方針

住民懇談会やアンケートに寄せられた意見や思い、夢などを手がかりにして、みんなで支えあうまちづくりのために、これから具体的に取り組んでいくための方向性を取りまとめました。

- (1) つながりをつくる、集う場をつくる
- (2) 若い人の協力・担い手を育成する
- (3) 必要な情報を必要な人に
- (4) 防犯・防災 安全なまちに
- (5) 「ともに生きる」いろいろな人が一緒に住めるまちに



### 4 住民説明会の開催

鶴見区では、策定されたアクションプランの周知を図るため、校下ごとに住民説明会を開催しました。

そのなかで、アクションプランは必ずしも新しい取り組みを求めるものではなく、「ネットワーク委員会」「ふれあい型高齢者食事サービス」「ふれあい喫茶」「子育てサロン」などの活動が全地域で行われ、また、「世代間交流」や「いきいき活動」なども取り組まれており、これらの活動を引き続き進めていくこともアクションプランの推進であることを地域・区役所・区社協で共有しました。

アクションプランを推進するには費用が必要で、その確保をどうするのか等の基本的な課題への指摘がある一方、次のような抱負が述べられるなど、アクションプランの推進が自分たちの課題であると受け止められており、また、その推進に対する地域の方々の思いに力強いものがあります。

#### 住民説明会での声

- ・足りないことをこれから考えていき、今やっていることを充実させる。地域の皆さんに声をかけて進めていきたい。
- ・各部会でいろいろ意見が出て最終的にこの冊子が出来あがった。これを少しずつ実践していくようにがんばろう。
- ・このプランが完璧とは思わない。推進していく途中で良いアイデアが出てくるかも知れない。余裕を持って進めていきたい。
- ・地域のアクションプラン推進委員で、よい点を伸ばし、困った点を直そうと相談して進めていきたい。半年、一年に1回、地域の皆さんの意見を聞いて取り組みにつなげたい。
- ・「俺がやらなくて誰がする。」の気概で取り組んでいこう。

## 5 今後の取り組み

これからも鶴見区で安全に安心して暮らし続けるために、各部会においてどんなことができるのか、具体的な取り組みについて検討し、地域と協働して実施していきます。



### ○地域部会

その地域に住んでいる人だからこそ気づくことがたくさんあります。

地域により、アクションプランへの取り組み方は様々ですが、各部会の具体的な取り組みを応援し、また、地域の皆さんとのパイプ役となってアクションプランの活性化を推進します。

### ○高齢者部会

地域や社会を支えてきた高齢者が、尊重され潤いを感じられる地域こそ豊かなまちと言えます。そのためには、高齢者や地域の人たちが気軽に集まれる「場」づくりを目指し、そこを拠点に、地域の活動や保健・医療・福祉・緊急情報の提供をしていきます。

### ○障がい者部会

障がい者への理解を深めるためには、まず何よりもお互いがともに暮らす仲間として、協力し支えあう気持ちを持つことが大切です。それを推進するために、研修会の開催や広報紙づくりを検討しています。また、地域で開催される行事などへ参加できるように、橋渡し役を担っていく方法を考えていきます。

### ○子ども部会

出生率が高く、子育て層の多い当区としては、地域ぐるみで多様な形の子育て支援を考えていきます。例えば、身近なところでの子育て相談、子どもへの声かけや見守りなど、子育て支援のネットワーク化を含め、「子どもは地域のたから」をモットーに、地域での子育て支援の活性化も図っていきます。

プランの推進は、その緒についたばかりです。「自分たちの地域は、自らの手で！」との機運が徐々に生まれ、広がりを見せ始めています。今後、具体的な取り組みに当たっては、地域と区役所・区社協の役割分担も、その発想の転換を含めて明確にし、共有・協働することが求められています。プランの推進にかかわったすべての人がその喜びを感じ、潤いの輪が広がることが大切です。